

# 筆・長狭物図形情報ファイル等作成

## 筆・長狭物図形情報ファイル等作成(SIMA 共通フォーマットから)

2016/09/19  
有限会社ジオ・コーチ・システムズ  
<http://www.geocoach.co.jp/>

## 目次

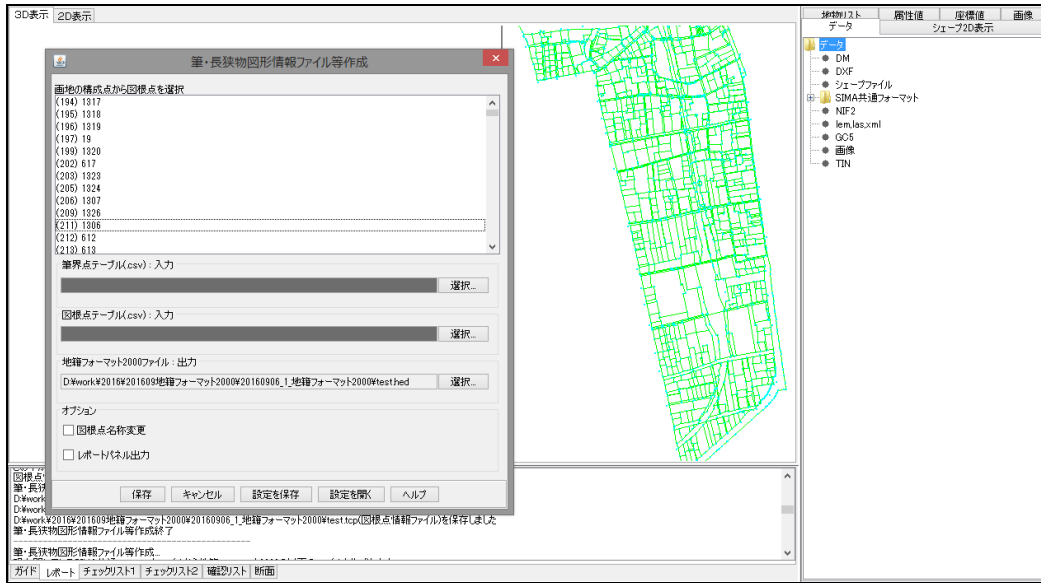
1. 機能 .....	1
2. ダイアログ .....	2
3. 入力の SIMA 共通フォーマットファイルについて .....	5
4. 筆界点テーブルファイル(.csv)について .....	5
5. 図根点テーブルファイル(.csv)について .....	5
6. 保存する地籍フォーマット 2000 ファイルについて .....	5
筆界点情報ファイル(.pnt) .....	6
筆・長狭物情報ファイル(.pol) .....	6
図根点等情報ファイル(.tcp) .....	6
7. 更新記録 .....	7

### 1. 機能

開いて表示されている SIMA 共通フォーマットファイルから、地籍フォーマット 2000 の  
筆・長狭物図形情報ファイル  
筆界点情報ファイル  
図根点等情報ファイル  
を作成します。

先に「地区別情報ファイル作成」で地区別情報ファイル(.hed)を作成しておいてください。

<http://www.geocoach.co.jp/help/LF2HedDialog.pdf>



## 2. ダイアログ



### 画地の構成点から図根点を選択

画地から参照されている座標データの点をリスト表示します。この中で図根点となるべき点を選択してください。シフトキーを使って範囲選択、コントロールキーを使って選択項目の追加と取り消しができます、選択された点は、筆界点情報ファイルと図根点情報ファイルの両方に記録されます。画地から参照されていない座標データの点は全て、図根点として図根点情報ファイル(.tcp)に保存します。

### 筆界点テーブル(csv):入力

筆界点名称と標識区分、材質区分データが入った CSV ファイルを指定します。このデータから、筆界点情報ファイルの標識区分と材質区分をセットします。このファイルがない場合、デフォルトの標識区分、材質区分で出力します。フォーマットは後述。

### 図根点テーブル(csv):入力

図根点名称と図根点種別、標識区分、材質区分データが入った CSV ファイルを指定します。このデータから、図根点情報ファイルの図根点種別、標識区分と材質区分をセットします。このファイルがない場合、デフォルトの図根点種別、

標識区分、材質区分で出力します。フォーマットは後述。

### 地籍フォーマット 2000 ファイル：出力

メニュー「地区別情報ファイル作成」で作成した地区別情報ファイル(.hed)を指定します。

### 図根点名称変更

図根点の名称を地籍フォーマット 2000 での形式に変更します。文字と数字が続いた場合、間に「00」を挿入します。文字と「'」と数字が続いた場合「'」の代わりに「01」を挿入します。また、「''」の場合、「02」に置き換えます。

元の名称	変更後の名称
P 1	P 0 0 1
P ' 1	P 0 1 1
AA 1 1 - 2	A 0 0 A 0 0 1 1 - 2
A ' A ' 1 1 - 2	A 0 1 A 0 1 1 1 - 2
P 交 1	P 0 0 交 1
P ' 交 1	P 0 1 交 1
P '' 交 1	P 0 2 交 1

[チェック] パネルに変更しなかった名称を、[確認] パネルに変更した名称について、変更前と変更後のリストを表示します。

(60) 図根点名称変更対象外 [4 4 3 6]	(22) 図根点名称変更 [A 1 0 3]⇒[A 0 0 1 0 3]
(61) 図根点名称変更対象外 [4 4 3 7]	(23) 図根点名称変更 [K 2]⇒[K 0 0 2]
(62) 図根点名称変更対象外 [5 1 - 6 6 1]	(24) 図根点名称変更 [P 6]⇒[P 0 0 6]
(63) 図根点名称変更対象外 [5 1 - 6 6 2]	(25) 図根点名称変更 [P 7]⇒[P 0 0 7]
(64) 図根点名称変更対象外 [原点]	(26) 図根点名称変更 [P 8]⇒[P 0 0 8]
(65) 図根点名称変更対象外 [不明]	(27) 図根点名称変更 [P P 1 4 - 1]⇒[P 0 0 P 0 0 1 4 - 1]

### レポートパネル出力

これを指定すると、[チェック]パネルと同じ内容が[レポート]パネルにも表示されます

### 保存

地区別情報ファイル(.hed)と同じファイル名で、筆・長狭物図形情報ファイル(.pol)、筆界点情報ファイル(.pnt)、図根点情報ファイル(.tcp)を作成します。

### 3. 入力の SIMA 共通フォーマットファイルについて

コンバートを実行するための前提として SIMA 共通フォーマットファイルの構成に、次のような条件があります。

筆・長狭物図形が閉合型画地で入力されていること

画地の地番が筆・長狭物図形の地番になっていること

半径データ(円弧)は使っていないこと（地籍フォーマット 2000 の筆・長狭物図形には円弧がありません）

### 4. 筆界点テーブルファイル(.csv)について

筆界点について、名称と標識区分、材質区分を与えるファイルです。最初の 1 行は項目名で、データは 2 行目からです。

列	データ項目	内容
1	筆界点名称	この名称と SIMA 共通フォーマット中の名称でマッチングします
2	X 座標	未使用
3	Y 座標	未使用
4	標高	未使用
5	標識区分	整数
6	材質区分	整数

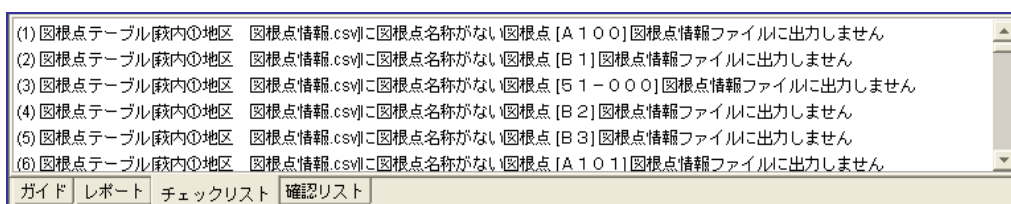
### 5. 図根点テーブルファイル(.csv)について

図根点について、名称と図根点種別、標識区分、材質区分を与えるファイルです。最初の 1 行は項目名で、データは 2 行目からです。

列	データ項目	内容
1	筆界点名称	この名称と SIMA 共通フォーマット中の名称でマッチングします
2	X 座標	未使用
3	Y 座標	未使用
4	標高	未使用
5	図根点種別	整数
6	標識区分	整数
7	材質区分	整数

### 6. 保存する地籍フォーマット 2000 ファイルについて

SIMA 共通フォーマットファイルの座標データのうち、画地から参照されていないものを図根点として図根点情報ファイルに出力しますが、このファイルが指定された場合、このファイルに名称がないものについては、図根点情報ファイルに出力しません。出力しなかった座標データについては[チェック]パネルにリストアップします。



(1)	図根点テーブル(市内①地区)	図根点情報.csvに図根点名称がない	図根点 [A 1 0 0]	図根点情報ファイルに出力しません
(2)	図根点テーブル(市内①地区)	図根点情報.csvに図根点名称がない	図根点 [B 1]	図根点情報ファイルに出力しません
(3)	図根点テーブル(市内①地区)	図根点情報.csvに図根点名称がない	図根点 [5 1 - 0 0 0]	図根点情報ファイルに出力しません
(4)	図根点テーブル(市内①地区)	図根点情報.csvに図根点名称がない	図根点 [B 2]	図根点情報ファイルに出力しません
(5)	図根点テーブル(市内①地区)	図根点情報.csvに図根点名称がない	図根点 [B 3]	図根点情報ファイルに出力しません
(6)	図根点テーブル(市内①地区)	図根点情報.csvに図根点名称がない	図根点 [A 1 0 1]	図根点情報ファイルに出力しません

ガイド レポート チェックリスト 確認リスト

## 筆界点情報ファイル(.pnt)

画地から参照されている座標データについて、筆界点として保存します。

次のような内容で、地籍フォーマット 2000 の筆界点情報ファイル(.pnt)を出力します。

座標については、SIMA 共通フォーマットファイルに記述されている文字列をそのまま出力しますので、小数点以下の桁数が変わったりすることはありません。

列	データ項目	内容
1	筆界点名称	SIMA 共通フォーマットファイルの座標点名称を全角で出力。
2	X 座標	SIMA 共通フォーマットファイルでの座標値の文字列をそのまま出力
3	Y 座標	SIMA 共通フォーマットファイルでの座標値の文字列をそのまま出力
4	標高	ブランクあるいは SIMA 共通フォーマットファイルでの座標値の文字列
5	筆界点の区分	1(図郭点)
6	標識区分	0(不明等)
7	材質区分	0(不明等)
8	測量年月	ブランク
9	測定方式	0(不明)
10	数値取得方法	1(図上読取)
11	図根点等の兼用	同一 XY 座標の図根点があれば、図根点名。それ以外はブランク。

図根点等の兼用については、筆界点と同じ座標の図根点があれば、その図根点の名称を出力します。また、保存ダイアログで図根点として選択されたものについては、同じ名称を出力します。画地が左回りの場合、反転させて右回りで出力します。

## 筆・長狭物情報ファイル(.pol)

地籍フォーマット 2000 の筆・長狭物ファイル(.pol)を出力します。SIMA 共通フォーマットファイルの閉合型画地を筆・長狭物図形としてファイル出力します。

列	データ項目	内容
1	大字コード	0
2	小字コード	0
3	大字名称	ブランク
4	小字名称	ブランク
5	地番	地番の文字列を全角に変換して出力
6	筆界点数	図形を構成する筆界点の数。最初と最後は同じ筆界点。
①	筆界点名称	筆界点名称を全角で出力。
②	線分種別	筆界線(1)あるいは最終点(0)

## 図根点等情報ファイル(.tcp)

画地から参照されていない座標データの点は全て、図根点として図根点情報ファイル(.tcp)に保存します。また、画地から参照されている座標点についても、保存時のダイアログで指定されたものについては、図根点として保存します。

次のような内容で、地籍フォーマット 2000 の図根点情報ファイル(.tcp)を出力します。

列	データ項目	内容
1	図根点名称	SIMA 共通フォーマットファイルの座標点名称を全角で出力。
2	X 座標	SIMA 共通フォーマットファイルでの座標値の文字列をそのまま出力
3	Y 座標	SIMA 共通フォーマットファイルでの座標値の文字列をそのまま出力
4	標高	ブランクあるいは SIMA 共通フォーマットファイルでの座標値の文字列
5	図根点種別	0(不明)
6	等級又は次数	0(不明)
7	標識区分	0(不明)
8	材質区分	0(不明等)

9	測量年月	ブランク
10	測定方式	0(不明)

等級又は次数については、図根点名称から判定できる場合、名称からセットします。判定の条件として、図根点名称が8文字以上で、次のような構成になっている場合です。図根点名称の変更後に処理します。

文字	内容
1	アルファベット
2	数字
3	数字
4	アルファベット
5	数字
6	数字
7	数字：この値を等級又は次数とします
8	数字

## 7. 更新記録

2016/09/06

- ✓この説明書を作成

2016/09/19

- ✓GeoCoachSEでのメニュー名を「筆・長狭物図形情報ファイル等作成(SIMA 共通フォーマットから)」に変更